

平成30年度 西区長マニフェスト

西区長 笠原 明夢

マニフェスト

少子超高齢化・人口減少が急速に進む中、区ビジョンを踏まえ、区の将来像「都市と農村が融合する、うるおいの住環境と優れた学術環境に育まれるまち」を目指し、地域のなかで人と人とのつながりを大切に、ともに支え合い、いつまでも元気で健康的に、そして安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。

また、地場産農産物のブランド化を推進し、生産及び消費の拡大を図り農業基盤の強化を進めるとともに、農商工連携による付加価値化や商店街の活性化、都市と農村の一体感の醸成に繋げていきます。

さらに、豊かな自然の継承と快適な住環境の確保を進め、「安心・安全で住んでよかった！ これからも住み続けたい！ 多くの方に住んでもらいたい！」と区民に実感していただけるよう、地域との協働により人口減少にも対応したまちづくりを推進します。

この方針のもと、西区は今年度、次の3つの取組を重点的に実施します。

1. 地域への愛着を深め、健やかにいきいきとした暮らしづくりを推進します。
2. 魅力あふれる食と農を活かし、産業と地域の活性化を推進します。
3. 豊かな自然と環境を大切にするまちづくりを推進します。

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 地域への愛着を深め、健やかにいきいきとした暮らしづくりを推進します。

現状 (課題)	<p>乳幼児から高齢者まで全ての区民が、地域に愛着を持ち、毎日をより健やかに、地域で安心して暮らしたいという思いは、区民共通の願いです。</p> <p>これまで、区民等と市との協働の要である区自治協議会と共に、地域のまちづくりや課題解決に取り組んできましたが、少子超高齢化・人口減少が急速に進む中、地域課題はますます複雑化、多様化しており、区自治協議会及びコミュニティ協議会などとさらに連携を深め、協働により区の課題解決やまちづくりに取り組んでいく必要があります。</p> <p>近年、一人暮らし高齢者の増加や核家族化の進行などにより、地域のつながりが希薄化し、社会から孤立する高齢者や子育て世帯が増加しています。超高齢社会を迎え、区民が健やかに暮らしていくためには、地域のなかでともに支え合う仕組みづくりや、健康寿命の延伸を図ることも重要です。</p> <p>また、地域防災力向上のため、自らの命を守るための避難行動や避難所運営などについて啓発するとともに、自主防災組織の活動をさらに活性化し、安心・安全なまちづくりを進める必要があります。</p>	
	目標	平成30年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成

課題解決策	<p>区自治協議会やコミュニティ協議会などとさらに連携するとともに、社会福祉協議会などの関係機関を含めた区の総力を結集し、人口減少社会に対応した地域課題に、区民と協働により取り組んでいきます。</p> <p>地域のつながりが希薄化するなか、高齢者や子育てに不安を抱える親に対し、地域ぐるみで見守り、支え合うしくみづくりが必要です。</p> <p>日常生活圏域ごとに設置した「支え合いのしくみづくり会議」の推進員を中心として、コミュニティ協議会や自治会などの地域団体と協働で、地域で高齢者を支え合うしくみづくりをさらに進めるとともに、同居者の入院入所や、死別などにより一人暮らしの状態になった高齢者を専門職が継続訪問し、孤立防止のための必要な支援を引き続き行い</p>	

	<p>ます。</p> <p>超高齢社会において、地域に密着した健康づくりと仲間づくり、さらには健康寿命の延伸に向けて、地域や関係機関と連携した健康づくりや介護予防を進めるとともに、特定健診等未受診者への受診勧奨を進めていきます。また、受診結果から、血圧・脂質・血糖が有所見のハイリスク者への健康相談や動脈硬化予防対策を拡充していきます。</p> <p>子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させるため、子育て支援体制や子育てネットワークの充実を図ります。</p> <p>また、地域防災力の向上に向けて、地域の避難マップの作成や自主防災組織による防災訓練など、地域の自主的な取り組みを支援していきます。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区自治協議会・コミュニティ協議会との協働 ・ 高齢者等が安心して生活できる支え合いのしくみづくりの推進 ・ 一人暮らしになった高齢者世帯への専門職による継続訪問の実施 ・ 地域と取り組む健康づくりと介護予防 ・ ハイリスク者を対象とした健康相談事業や動脈硬化予防教室の実施 ・ モデル地区（中野小屋・黒埼地区）において、健診未受診者への受診勧奨を実施 ・ 各年代に対応した子育て支援講座の実施 ・ 地域の避難マップ作成

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">取組結果</p>	<p>主な取組の指標達成状況</p>	<p>設定数</p>	<p>12</p>	<p>達成数</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方針</p>					

2 魅力あふれる食と農を活かし、農商工連携による地域活性化を推進します。

現状 (課題)	<p>西区は都市と農村が共存しており、良好な住宅地や商業施設、大学が集積するとともに、「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など良質で魅力的な農産物にも恵まれています。</p> <p>一方、持続可能な力強い農業を実現するため農地の集積・集約の推進や、耕作放棄地の再生による西区振興作物の作付拡大を進める必要があります。</p> <p>西区特産農産物のさらなる知名度向上のため、市内はもとより、首都圏を中心にPRや販売促進に取り組み一層の消費拡大を進めるとともに、西区の魅力を積極的に発信することで都市部と農村部の交流を拡大する必要があります。</p> <p>また、商工業・農業関係団体や大学との連携を強化しながら、農商工連携を推進し、地場産物の高付加価値化や商店街の活性化につなげていく必要があります。</p>			
	目標	平成30年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成		
課題解決策	<p>県内初の地理的表示(GI)保護制度に登録された「くろさき茶豆」をはじめとする地場産農産物について、首都圏を中心に積極的なPRと販売促進に取り組むほか、農業体験ツアーや農業まつり等を通じて、生産地における新たな交流を創出し西区及び農産物の魅力を広く発信します。</p> <p>農業まつりや西区新鮮あさ市の開催により生産者と消費者の交流の場を設け、地産地消と消費拡大を推進し、また、農商工・大学連携を活用して「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」など特産農産物の生産拡大や高付加価値化に取り組むとともに、農地の集積・集約や耕作放棄地の再生に取り組み、農業基盤の強化と商店街や地域の活性化につなげます。</p> <p>さらに、西区の一層のPRを図るため、区の事業やイベント等への「西区かがやき(PR)大使」越乃リュウ氏の参加を通じて、「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」をはじめとする西区の魅力を区内外に継続して発信していきます。</p>			
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験ツアーを通じたPRと市場やアンテナショップ、関係者会議など首都圏でのPRや販売促進 ・特産品ごとの農業まつり開催 ・「くろさき茶豆」を活用した商店街や地域の活性化 ・「いもジェンヌ」の生産面積拡大や商品開発等への支援 ・農地の集積・集約による持続可能な農業の確立 ・耕作放棄地の再生による西区振興作物の作付拡大 ・西区かがやき(PR)大使等を活用した区の魅力の発信 		

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	8	達成数	
今後の方針					

3 豊かな自然と環境を大切にすまちづくりを推進します。			
現状 (課題)	<p>海岸保安林の保全は飛砂被害の抑制に結び付くため、関係機関との連携を強化しながら松くい虫被害への対策を強化するとともに、保安林の環境保全を行っているボランティア団体やコミュニティ協議会などへの継続的な支援が必要です。</p> <p>また、魅力的な自然や観光資源を有効活用し、ニーズにあった観光ルートや環境整備による誘客に取り組みながら、「佐潟」を中心とした観光資源の情報発信や区内他地域のまち歩きコースづくりを進め、引き続き交流人口を拡大していくことが必要です。</p> <p>国道 402 号の飛砂対策は、平成 26 年度から実施してきた人工堤防の築造などにより、効果が形となって表れていますが、引き続き、交通障害や住宅地への飛砂被害への抜本的な対策の推進が求められています。</p> <p>区民のきれいなまちづくりに対する意識は向上し、多くの区民から環境美化活動に参加していただいておりますが、海岸付近や西川、新川では、ごみの放置や不法投棄が依然として発生しており、引き続き環境の美化が求められています。</p>		
課題 解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">目標</td> <td>平成 30 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 2 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</td> </tr> </table> <p>松くい虫被害を最小限に抑えるため、無人ヘリコプター防除や伐倒駆除を実施するとともに、ドローンを活用した有効な防除策の構築のための実証試験を進めます。また、ボランティア団体やコミュニティ協議会などの保安林保全活動への支援を引き続き行い、啓発活動を進めるとともに、保安林整備講座の開催等によるボランティア団体の育成に努めます。</p> <p>赤塚地域・佐潟周辺の「北国街道」沿いのまち歩きや西蒲区と連携したツアー、さらに黒埼及び内野地域のまち歩きを行うとともに、赤塚地域の自然景観をテーマにしたコースやマップの作成を行い、地域団体やボランティアガイドの協力を得ながら交流人口の拡大を図ります。</p> <p>国道 402 号の飛砂対策は、引き続き、地域住民・海岸管理者等と一体となって進めるとともに、新潟大学等と連携しながら効果を検証し、抜本的な対策を進めます。</p> <p>自治会やコミュニティ協議会、ボランティア団体、近隣区等と連携して、より多くの区民、団体に環境美化活動に参加してもらうことにより、区民一人ひとりの環境保全に向けた意識の醸成と西区全域の環境美化に取り組めます。</p>	目標	平成 30 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 2 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成
目標	平成 30 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 2 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成		
主な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸保安林の保全・育成活動団体への支援（保安林整備講座開催，物品等の貸出） ・ ボランティアガイドを活用したまち歩き・ツアーの実施と赤塚地域の砂丘・自然景観を生かしたコースの作成・活用 ・ 佐潟を活用した自然保護意識の醸成と交流人口の拡大 ・ 国道 402 号の飛砂対策の実施 ・ 西区の環境美化の推進 		

取組 結果	主な取組の指標達成状況	設定数	6	達成数	
今後 の方針					